



パンフレットNo. AP024
2013年 2月改訂
工 業 用

反応染料用フィックス剤

センカフィックス 157 (SENKAFIX 157)

センカフィックス157は特殊水溶性カチオンポリマーを主成分としたポリカチオン系フィックス剤です。従来のポリアミン系フィックス剤に比べて、処理変色・耐光堅牢度の低下が少なく、反応染料染色物に適したフィックス剤です。

またセンカフィックス157は吸水性に優れたフィックス剤であり、被処理物の吸水性を阻害しません。

性 質 ・ 性 状

外 観	無色～淡黄色液体
成 分	水溶性カチオンポリマー（ポリカチオン型）
イ オ ン 性	カチオン
p H	約 5.5（1%水溶液）
溶 解 性	任意の割合で水に溶解します。

（上記の数値等は代表値であり、規格値ではありません。）

特 徴

1. 処理変色が少なく、反応染料の鮮明な色相に対して悪影響を与えません。
2. 耐光堅牢度の低下がほとんどありません。
3. ホルマリンを含有していません。
4. 繊維加工用樹脂との併用が可能です。
5. 吸水性の低下が少ないフィックス剤です。
6. 直接染料淡色染色物に対しても優れたフィックス効果を示します。

使用 方 法

用いられている染料の種類・濃度、被処理物の種類・形態、処理法により異なりますが、一般的には下記の通りです。

(a) 浸漬法

染料濃度	センカフィックス157使用量
淡 色	1～3% o. w. f.
中 濃 色	3～6% o. w. f.

40～60℃×20分処理した後、水洗・乾燥します。

(b) 連続処理法

P a d	→	D r y
センカフィックス157		100～105℃×2～3分
5～30g/L		

脱フィックス処方

センカフィックス157の脱フィックス処方としては、還元－酸化処理法が効果的です。

還元－酸化法

還元工程

〔	ハイドロサルファイト	3～5 g/L	90～100℃×20～30分
	ソーダ灰	1～2 g/L	

酸化工程

〔	過酸化水素（35%）	3～5 cc/L	90～100℃×20～30分
	ソーダ灰	1～2 g/L	
	EDTA・4Na	0～1 g/L	
	エフカッター800	2～3 g/L	

- ・含金属系染料により染色されている場合や、用水中の金属イオン濃度が高い場合等、金属によるトラブルが生じるおそれのある場合には、酸化処理浴にキレート剤（EDTA・4Na等）を併用して下さい。
- ・酸化処理後、繊維上に過酸化水素が残留しないよう十分に水洗して下さい。（必要に応じて、脱過酸化水素処理を行って下さい。）



- ・被染物の色相、フィックス剤の使用量によっては還元工程でエフカッター800を使用し、酸化工程を省いた一浴一段処理法によっても脱フィックス可能です。

ご 注 意

使用に際しましては充分試験の上ご使用下さい。

入 目

1 8 kg

取扱いおよび保管上の注意事項

- 1) 取扱い中は、直接身体に触れないように保護手袋、保護メガネを着用して下さい。
- 2) もし誤って眼や口に入ったときは、直ちに流水でよく洗い流し医師の手当てを受けて下さい。
- 3) 皮膚に直接触れた場合は、直ちに流水でよく洗い流して下さい。もし発疹その他の異常が生じた場合は速やかに医師の手当てを受けて下さい。
- 4) 取扱い後は手洗い、うがいを充分に行ってください。
- 5) 使用途中の容器は密閉し、異物が入らないようにして下さい。
- 6) 保管に際しては直射日光を避け、冷暗所（5℃～35℃）で保管して下さい。
- 7) 廃棄するときは、産業廃棄物として処理して下さい。

お 願 い

弊社発行の「安全データシート（SDS）」を用意しております。併せてご活用下さい。